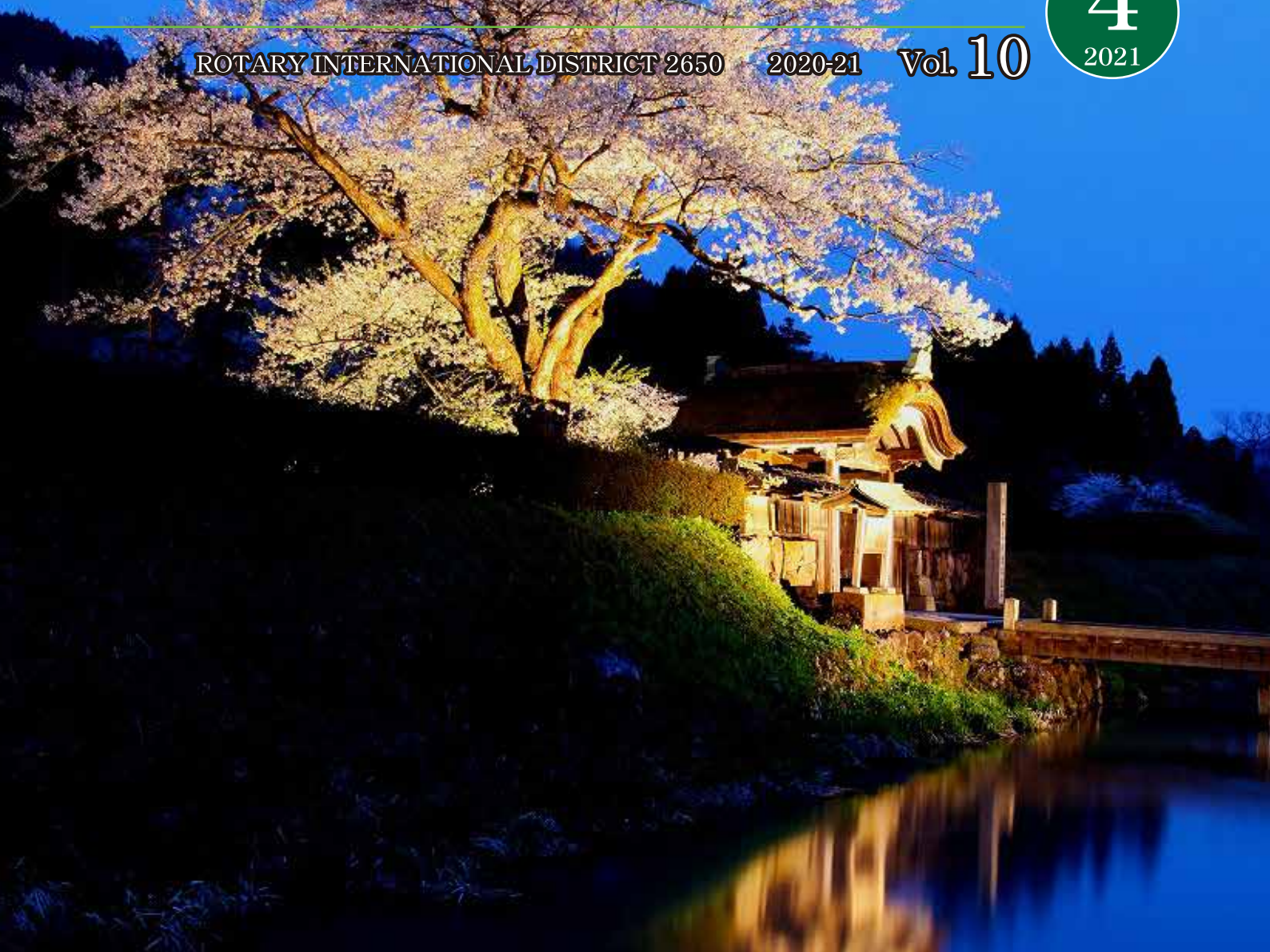


RI第2650地区ガバナー月信 2020-21年度 第10号

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

4  
2021

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650 2020-21 Vol. 10



一乗谷城 朝倉義景館跡 唐門



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度  
国際ロータリーテーマ

国際ロータリー会長  
ホルガー・クナーク



ロータリーの原点に戻る

誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ

国際ロータリー  
第2650地区スローガン

国際ロータリー第2650地区  
ガバナー  
松原 六郎

## C O N T E N T S

P2 ……ガバナーメッセージ

P4 ……コロナ禍における委員会活動をふり返って  
—「2020-21年度職業奉仕講演会」を終えて—

P8 ……米山奨学委員会

P10 ……不活化ワクチンと生ワクチン

P11 ……会員数の増減及び出席率表

P12 ……会員の動き

# 母子の健康月間

少女を売り飛ばす国もあれば、子供の誘拐が横行している国も世界にはまだまだたくさんあります。なんとイエメンでは意図的に、組織的に、子供を狙撃する集団がいるというではありませんか。また、我々が根絶を目指しているポリオ感染症は手足が麻痺する病気と思われがちですが、多くの子供たちが呼吸筋の麻痺などが原因で亡くなっていく病気なのです。さらに、今でもアフリカや中東の一部地域では40人に一人の割合で妊婦が妊娠の合併症で亡くなっているといわれています。

それでは、日本はどのような状況でしょうか。幸い日本では妊婦の死亡率も、5歳以下の乳幼児の死亡率も、世界最高と言えるくらいの低い数字を誇っています。これは、診断や治療法の進歩もさることながら、戦時中、妊産婦手帳として始まり、今の母子手帳の活用が大きく貢献しているといわれています。私はこのことを世界に誇りを持って伝え、世界中に母子手帳が広がることを期待したいと思っています。そのために我々の力を結集すべきだとさえ思っています。

しかし、何事にも光の面もあれば、陰の面もあるのでしょうか。私は、自らの生業である医療の現場にいるから感じるのですが、産前産後のうつ状態（マタニティーブルー）とか、

国際ロータリー第2650地区  
2020-21年度 ガバナー

## 松原 六郎



母親による乳幼児への身体的虐待、ネグレクト、父親による母親（妻）や我が子への虐待が後を絶ちません。我々の母子の健康にかかわる奉仕活動は外国でなくてもそのニードは山積みになっているのです。つまり、母子の健康対策は我が国の急務なのです。

一方で、10年前の東日本大震災では、乳児を抱えたまま焼死した母子もあれば、首まで水につかりながら赤ちゃんを守りぬいた母親もいました。私たちのミッションはこのような母子のことをいつも胸に抱きながら、ちょっとボタンを掛け違えた、最近の日本の人たちの心にも援助の手を差し伸べることだと思えます。やや、趣旨はずれますが、ロータリーの希望の風も子を思う親の願いに答える活動だと思えます。

私は、福井フェニックスロータリークラブの仲間と共にこれまで何度も宮城県を訪れました。松島、石巻、女川、雄勝町などを訪れ被災された人たちと対話してきました。そして、訪問の最後は大川小学校旧校舎の前に伺います。そこはいつまでも静かです。そしてそこには優しい母子像があります。

松原 六郎

# コロナ禍における委員会活動をふり返って

—「2020-21年度職業奉仕講演会」を終えて—



2020-21年度  
国際ロータリー第2650地区  
職業奉仕委員長

上原 博一  
(大津東RC)

都、東京、福井の3か所を結んだ完全無観客講演会を松原ガバナーならびに地区幹事会の絶大なご支援をいただき実施することが出来ました。地区委員会の一つの当委員会の活動ですが、その活動を振り返り関係者の皆様にお伝えすることもこれからの地区活動に資するのではと考へ、幹事会のご理解を得て筆をとりました。

## はじめに

昨年（2020年）、政府は2月3日横浜港に入港したクルーズ船ダイヤモンドプリンセスの乗員、乗客の下船を許可しませんでした。わが国のコロナ騒動の始まりです。その後、北海道の観光地を中心とした感染拡大を端緒にわが国の感染状況は憂える状況となりました。

2月27日、安倍晋三首相は全国全ての小・中・高等学校等に3月2日から春休みまでを臨時休校とするように感染症対策本部で要請しました。そして全国の学校のほとんどは臨時休校となりました。

昨年度（佐竹年度）中島委員長のもとで実施された「職業奉仕講演会」は、上述の首相要請の3日前の2月24日のことでした。委員会としては、その感染対策を万全とするため委員長や医療関係の委員の尽力での消毒液の準備、そして会場の京都テルサホール内の800以上ある座席とひじ掛け、手すり、ドアノブなどを委員が協力しながら消毒したことを思い起こします。

この時期から正体の分からない新型ウイルスへの国民の不安は高まり、自粛モードが高まったことを覚えています。

私の所属するクラブも例会休止を余儀なくされました。地区委員会活動も当然ながら活動の在り方などが問われた時期です。地区職業奉仕委員会は、去る2月20日に皆様の絶大なご理解ご協力を得て、京

## その1. まずはとにかくみんなで慣れる

前年度の講演会が終わり3月を迎えるとZoomというソフトを使用したテレビ会議システムの利用がマスコミ等で報じられ始めました。多くの企業がその入社式の運営をオンラインにしたなどの報道です。実はこの時期Zoomシステムはセキュリティの脆弱さがSNS上で話題となっていました。海外でオンライン授業をしている最中にハッカーが侵入し、授業と関係のない不適切な発言を繰り返すなどの事例です。私自身もZoomに対しての初めての感情は同様のものでした。そうした時期に中島委員長からZoom利用での委員会運営を提案されました。委員長は福祉施設の理事長もされており施設間の打ち合わせで、担当者が一堂に集まるとの会議開催ができないため同システムをいち早く導入していました。

私自身は上述のセキュリティ問題からやや及び腰でしたが、委員長、副委員長、次年度委員長予定者の私との間でとにかくリモートをやってみようとのこととなり、日程を調整して実施しました。受信したメール本文のURLをクリックするとつながるといふ使い勝手の良さを感じ、中島委員長のご提案もあり、次はテーマを決めない夜のオンライン懇談会開催を所属委員にも呼びかけて実施しました。私自身はこの懇談会を踏まえ、オンラインでの委員会運営にある程度の手ごたえを感じたことを覚えています。

その頃、くだんのセキュリティ問題についてもZoom社のシステム改良により改善されたとの情報も得ることができました。

## その2. 委員会活動での模索

委員会としての初めてのZoom利用は5月24日に開催した新旧年度合同委員会でした。新年度委員会の話題は、年度当初に開催される「クラブ職業奉仕担当者研修会」の開催の是非です。この時点では実施延期もしくは中止、またはリモート開催についてまだ模索中の段階でした。その上、所属委員全員がZoomに精通しているわけではなく一部委員の方の参加は困難でした。そうした状況で委員全員のコンセンサスをどう取るかも課題でした。第2回委員会ではガバナー事務所をサテライトとして、京都府内で希望する委員には京都サテライトに参集いただきZoom利用を併用するハイブリッド委員会として実施しました。その結果、前回よりも多くの委員の参加を得て、課題の洗い出しなども含め同事業をオンラインで実施する方向で委員の賛同を得ました。

## その3. 地区で初めて全クラブ対象

### オンライン研修会を実施できたこと

実施に当たって、最大の課題は各クラブの職業奉仕担当者のみなさんがZoomでの参加について肯定的に捉えていただけるかでした。私自身もわずか3か月前には懐疑的な想いを持っていたのですからなおさらです。松原新年度に入り、地区幹事会が地域別会長・幹事懇談会をZoomシステムで精力的に開催していました。その折、松原ガバナーから当該研修会についても話題にあげていただき、各クラブの会長・幹事レベルではこうしたZoomを活用したイベントについても理解が深まったのではと推察します。

上記以外にも、より多くのクラブ担当者の皆様に参加していただきたく「私も数か月前にはZoomやリモート会議などは一切無関心だった。しかし皆さんにも体験してほしい」との趣旨で、恥ずかしながら私のYouTube映像を作成し、案内文に添付して配信もさせていただきました。

そして7月23日の「クラブ職業奉仕担当者研修

会」の開催を迎えました。運営方法はZoomでのオンライン開催。委員会体制としては松原病院を福井サテライト（ガバナー、担当幹事、福井地域委員参加）、ガバナー事務所会議室を京都サテライトとして（北河原諮問委員、京都地域委員参加）その他のメンバーは



オンライン参加としました。先の懇談会でのガバナーのご尽力もあり、

例年は120名程度の参加人数ですが、会長・幹事様も含め166名の参加をいただきました。オンラインでの実施時間についても初めてでもあり、どの程度が最適か見当もつきませんでした。従前の対面式講演会は2時間でしたが、オンラインでは1時間程度が限界ではとの判断で、委員会作成の映像コンテンツ「職業奉仕の履歴書」の視聴を中心とした内容としました。私としてはこの研修会が予期せぬ原因で失敗となり、その後の地区事業のオンライン運用への否定的な意見が高まることを危惧していました。そこで第1の目標は「安定したオンライン研修を無事に運営できる」とさせていただきました。実際に、参加者のミュート忘れからの音声割込み、試しクリックによる画面固定など若干の混乱も見られましたが、先の目標は概ね達成できたのではと考えています。

終了直後のオンラインでの関係者の総括では、もう少し時間を増やしても良いのではないかと、パワーポイントを活用した内容も検討してはなどの意見も出されました。その席上で松原ガバナーよりご自身として初めての“開会点鐘”をすることができたとの感想をいただき、委員一同も感激の想いをいたしました。おかげさまで事後のアンケート結果も肯定的意見を多くいただき安堵したことを覚えています。

## その4. 秋の担当者懇談会は

### ハイブリッドで実施

職業奉仕委員会では地区内を1M単位（6カ所）で私たち委員が直接赴き「クラブ職業奉仕担当者地



「域別懇談会」を数年前からはR L I方式で実施しています。リアルでの対面式に不安を持たれる担当者の皆さんにはZoomシステムで参加いただき、対面で懇談している同じ会場で実施しました。会場によってはWi-Fi設備が整っていないところもあり、ポケットWi-Fiを事前に手配しての実施会場もありました。会場に来ていただき感染に不安を持たれている方への対応としてはフェイスシールドを準備し、参加者に配布しての懇談会でした。

6カ所中、5カ所において対面式懇談会とZoomでのブレイクルームを活用した懇談会を同時に実施しました。実施時間も先の研修会の状況を踏まえ2時間のプログラムとさせていただきます。しかし、各々会場での接続環境等も異なり、予期せぬトラブルもあり一部の会場では参加した皆様にご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。しかし、最後に開催した懇談会では

ご挨拶を予定していたガバナー補佐さまがご都合で遅れることとなり、オンラインで参加していただいていた他のガバナー補佐さまに急遽ご依頼して皆さんにお話ししていただくなど、少しずつ運用ノウハウを積み重ねることが出来ました。



## その5. 時の経過とともに変更する講演会

例年2月頃に実施している当委員会主催「職業奉仕講演会」ですが、実施に際しては毎年乗り越えるべき課題が存在します。それは地区内の会員のみなさんが参加しやすく、収容人数も最適なホールが限

られているということです。該当するホールの利用申し込みは抽選であり、ガバナーの日程確保と会場確保などが事前に把握できないという点は大きな課題です。今年度は私のくじ運の無さで抽選に漏れてしまいました。第1回合同委員会に同席していただいた大津RCの山田督ガバナー補佐さまが事情を汲んでいただき、馬場エレクトとのお話の中から新たな会場確保がエレクトのご尽力で確保できました。馬場エレクトにはお手数をおかけしました。

しかし、感染状況は第2波、第3波と続き、500人を超える参加者のイベント実施は困難な状況となりました。そこで50名程度の関係者が出席し、講師等には京都ホテルにおいていただき、オンラインを併用するハイブリッド講演会を企画して準備を進めてきました。そして2月7日の宣言解除を見守る状況となりました。事前の委員会では宣言延長の場合も想定し、松原ガバナーが京都へおいでいただく場合とそうでない場合の対応を関係者とも協議していました。

その後、ご承知のように緊急事態宣言は延長となりました。その時点でも講師の荒牧氏には京都へおいでいただく予定でご本人様にも了解をいただいていた。しかし、その後ANAホールディングからの傘下企業の幹部の県外移動・会食禁止等の通達となされ、講師の京都入りは不可能となりました。講演会は東京、福井、京都の3カ所からの配信、遠距離での講演と鼎談として急遽実施することとなりました。

この事態による経費増についても地区幹事会から格別なご理解とご支援をいただきました。改めて感謝申し上げます。

## その6. 職業奉仕講演会を開催して

### ～さながら放送局のスタジオ

松原年度の職業奉仕講演会は「人間（ひと）とAI（人工知能）— 私たちの職業の未来を考える —」をテーマとして京都ホテルオークラより完全無観客講演会として2月20日に開催されました。当日は9時頃から配信業者により機器搬入が始まり、ホテル側との音声調整や照明調整など日頃の宴会場はさ



ながら放送局のスタジオの様相となりました。

講師のANAシステムズの荒牧秀知氏とは講演のご依頼もZoomを活用していました。講師が京都においでになれないことが判明し、開催の一週間前には急遽リモート打ち合わせを実施しました。参加メンバーは、日程調整ができた委員、配信業者スタッフそして今回の講師依頼のコーディネイトをいただいた京都産業大学の横森先生にもご参加していただき、講師の荒牧氏を中心に技術的な課題や鼎談の流れなどの内容面についても検討をしました。こうした機会を広く関係者にオープンにすることも大切な要素ではないかと考えています。

今回の講演会が従前と大きく異なる点は、登録料を負担したロータリアンに参加いただいた講演会ではなく、オンライン方式により無料としたため、イ



ンターアクター、ローターアクター、米山奨学生など若きロータリー関係者の皆さんにも参加していただけただけです。登録いただいた参加者にはインターアクトクラブの顧問の先生もいらっしゃいました。こうしたことはロータリー活動を広く関係者に理解していただく機会にもなったのでは自負しています。それぞれの青少年関係の委員会、提唱クラブの関係者の皆様には深く感謝申し上げます。

## 結びに代えて

およそ1年間を振り返りながら当委員会のZoomを活用しての活動をご紹介しました。月並みですが対面式の利点とリモート方式の利点のそれぞれを検討、見定めながらロータリー活動を推進しなければならないことを私は痛感しています。

その上で、やはり私は実際に対面しての出会いや対話が最も大切ではないかと考えています。そのためにもオンライン方式をより有効に活用することは不可欠です。これはいみじくも今回の講演会の講師をはじめ松原ガバナー、北河原パストガバナーらが述べられたようにAIの進展を人間との対立軸で捉えるのではなく、人間がAIと共存しながら活用することで、人間にしかできないことをより一層高めることと同様ではないかと考えます。

地区共通の財産になった講演会の映像ですが、当日にご参加が出来なかったロータリアンの皆様にも視聴いただけるようにYouTube映像などでの配信についても準備をしています。ご関心をお持ちの方はガバナー事務所までお問合せください。

こうしたZoomに代表されるICTを活用した委員会活動を進める上で、前委員長の中島様のご尽力は不可欠でした。感謝申し上げます。そしてその活動を支えていただいた委員の皆さまにも感謝申し上げます。また、松原ガバナー、梅田幹事長をはじめとする幹事会の物心両面のご支援が今回の講演会に結実したと考えています。本当に感謝申し上げます。

最後に555名の登録をいただき、お忙しい中パソコン、スマホ等で接続して講演会にご参加いただいたロータリアン、ならびにロータリー関係者に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

2021.02.20



# 米山奨学委員会



## 2020学年度 米山奨学生終了式を 終えて

国際ロータリー第2650地区  
米山奨学委員会  
委員長 下川 和馬

去る3月6日(土) 松原六郎ガバナー、北河原公敬ロータリー米山記念奨学会理事をはじめご来賓ご参列のもと「2020学年度米山奨学生終了式」をZoomにて開催いたしました。多くのご祝辞と励ましのお言葉に囲まれ、画面を通してそれぞれが晴れやかな表情で巣立っていきました。

コロナ禍という時期を共に乗り越えたロータリアンと奨学生は今後も例年以上に固い絆で結ばれていくことと思います。

今後とも本事業のご理解ご協力、そして心のこもったご寄付をどうぞよろしくお願いいたします。



## 2年間の米山カウンセラーを終えて

京都洛西ロータリークラブ  
カウンセラー 高木 政明  
(奨学生 レナード インドネシア 京都工芸繊維大学)

まずは、米山カウンセラーに御用命いただき沢山の経験をさせていただきましたこと本当に感謝です。有難うございます。

米山カウンセラーとしてのスタートはロータリアンとしてまだまだ経験不足でしたので、米山奨学制度(米山記念奨学生)について理解と勉強でした。



米山記念奨学生の目的は、「将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学すること」とあります。

このような、グローバルな将来の国際社会に対して一端を担うことが出来るのを喜ばしく思いました。更には、米山記念奨学会は奨学団体として、日本最大と聞き、「さすがはロータリー」と、思いました。

そして、就任式・懇親会にて、初めてインドネシアからの留学生を米山奨学生として迎え、沢山の交流をさせていただきました。お互いの国の文化の違いや歴史についてや、家族の話、将来の夢や目標を語り合いました。2年間もあれば、多少なりとも紆余曲折はありましたが、奨学生からの年2回のレポートの提出がありますが、毎度読み上げると奨学生のグローバルな人材として大きな成長が感じれるので、本当に嬉しく思います。



そして、何より嬉しかったのが、最後のレポートに、『将来、ロータリアンの一員になれたら』とあり、とても大きく、壮大な言葉をいただきました。

カウンセラーを終了した後も、社会貢献、社会奉仕に身を置き、尽くしていきたいと思えます。



## 2020学年度米山奨学生代表 謝辞

日本ロータリー Eクラブ2650

カトリーナ、プラット ローズ  
(アメリカ 同志社大学)

桜のつぼみも色づき始め、春の訪れを感じる今日の頃となりました。

本日はご多用の中、2020学年度米山奨学生のために、このように終了式を催していただき、誠にありがとうございます。皆さまからの温かいご祝辞に、あらためて感謝を申し上げます。僣越ではございますが、奨学生を代表いたしまして一言お礼を述べさせていただきます。



奨学生がこうして画面上で並んで参加している光景を見ますと、まさに8ヶ月前に京都東急ホテルで行われた米山奨学生・カウンセラー集会の記憶がよみがえります。

奨学生はウロウロ周りを見渡しながら、世話クラブのカウンセラーにべったり付いていたように思います。集会の中で一人一人自己紹介をしたと思いますが、2020年度から新しく入った奨学生よりも、2019年度から継続されている先輩奨学生の方が一段と慣れた様子で自己紹介と一言話していた覚えがあります。

どうどうとハキハキ話す奨学生もいれば、私のようにオドオドして、かすれた声で話す奨学生もいました。そんな私たちでも、前に並んで座っておられた地区役員の方々、米山学友の方々、地区委員の方々や隣のカウンセラー方が温かい目で見守ってくださっていたことをはっきりと覚えています。

あれからもう8ヶ月経ち、私たちは皆様の丁寧なご支援・ご指導の元、多くのことを学び、大きな成長を得て、一段とレベルアップしました。

コロナ渦で規制の多い一年でしたが、多くのロータリアンと触れ合い、あらゆる職業や背景をお持ちの方と会話を交わし、私たちにとって貴重な機会となり、日本のことを始め、世界を見る視野が広がりました。そして、米山奨学生としての使命や役割を知り、この先向かうべき方向も明確になりました。

私個人の話になりますが、Eクラブが世話クラブで、毎月オンライン例会に参加し、そちらでコメントを残し、また、例会とは別で毎月少人数で集まり、奨学金の支給式に出席しました。支給式の時には毎度スピー



チをさせていただいているのですが、今月で12回目になり、毎回感謝を伝えるのに同じ言葉を使うわけにもいかず、毎月前の月とは違った感

謝の伝え方を考えるのに苦労しました。

しかし、その経験からも学び、このような場面で使用する言葉のレパートリーも増え、今後日本社会で礼儀正しく、周囲の方が過ごしやすいように振る舞うためには大事な経験だったと思います。

今年は私が今まで4年間日本で勉強してきた中で、一番行く所や出掛ける先が限られ、対面での人との関わりが制限され、予想の出来なかった一年となりました。そんな年だったにも関わらず、私たち奨学生が続けて学業に取り掛かり、日本での生活が続けられたのは、皆様が私たちを米山奨学生として受け入れてくださったからです。

ロータリーや米山についてなかなか理解するのに時間がかかり、あらゆる面で奨学生として不十分だったと反省しています。しかし、それでもこのように一年後、こうして終了式を迎えられていることは、皆様の支えがあったからだと確信しております。

どんなときも私たちを信じ、決して諦めず、熱心に向き合ってくくださった、カウンセラーをはじめ、地区役員の方々、米山学友の方々、地区委員の方々、そして国際ロータリー第2650地区ロータリアンの皆様の指導の賜物です。

奨学生を代表いたしまして、心より感謝申し上げます。

今後も交わりを持てることを期待し、心待ちにしております。

1年間、本当にありがとうございました。

\* 終了式謝辞原文のまま



# 不活化ワクチンと生ワクチン

今回の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する日本の国産ワクチンがいつまでたっても出ない。そう思うってしまうのは自然な気持ちかも知れません。何しろ、科学、技術立国を柱にしている国なのですから。医療の分野でも日本は世界で最も進んだ国であると私を含めた多くの人が信じています。それなのになぜ、国産ワクチンが出てこないのでしょうか。我々が聞いているのはアストラゼネカ社のワクチンが国内で承認されれば、大半を国内で生産するという話くらいでしょうか。

そういえば、ロータリーが1975年フィリピンでワクチン投与支援を開始して以来、これまで45年近くかけて根絶を目指しているポリオウイルスもコロナウイルスと同じRNAウイルスです。しかし、ポリオ根絶の活動の中で、今回のコロナウイルス感染予防のようなmRNAワクチンやウイルスベクターワクチンという言葉はあまり聞いたことがありません。どうしてでしょうか。

以前子供たちの間で大流行したときも、おそらく、現在のワクチン開発競争と同じ状況だったでしょう。そして、生ワクチンが誕生し、多くの子供たちの命と体を救ったのでした。当時はまだmRNAワクチンとかウイルスベクターワクチンを開発するような技術がなかったのです。そして、生ワクチンでは時に弱毒ウイルスであるはずのワクチン由来ウイルスが変異し強毒化して、ワクチン由来のポリオが発症するという副反応が稀にですが起きてしまったのです。そこで、不活化ワクチンの登場です。今、パキスタンやアフガニスタンといった、ポリオ野生株が流行している地域を除けば、生ワクチンの使用をやめて不活化ワクチンに切り替える国が多くなっているはずですが、これは、あくまでも比較論ですが、もしかすると実績という点からいって、最も信頼できるワクチンは不活化ワクチンなのかもしれません。少なくとも今はそう感じます。

その不活化ワクチンは、日本はちゃんと開発を進めているようです。もしかすると、本文が月信に掲載される頃には新型コロナウイルス感染予防の不活化ワクチンの治験の申請が厚労省に出されているかもしれません。生ワクチンも開発中のようです。そして、これら生ワクチンや不活化ワクチンよりも、より安全で有効なワクチンも国内で開発されているようです。

私が国産のワクチンに期待している理由がもう一つあります。以前にも述べましたように、きっとワクチン獲得競争が起きます。そして、裕福な人たちが救われると思います。現に国家レベルではそのような様相を呈しています。このような時、日本から安価で運搬しやすいワクチンが生まれ、世界のすみずみまで届けられればどんなに良いか。そんな日が来ることを願っています。

松原 六郎

## 2021年1月会員数の増減および出席率表

京都府 (42クラブ)	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
綾部	30	0	0	30	28	3	1	1	100.00	1
福知山	46	0	0	46	51	2	7	1	83.72	0
福知山西南	48	0	0	48	48	3	3	0	—	2
亀岡	38	0	0	38	38	0	0	1	100.00	0
亀岡中央	17	0	0	17	17	0	0	0	—	1
京丹後	26	0	0	26	26	0	1	0	—	2
京都	202	1	3	200	191	15	6	1	—	1
京都伏見	91	0	1	90	92	1	3	1	100.00	8
京都平安	23	0	0	23	24	0	1	2	80.43	4
京都東	84	0	0	84	84	1	1	0	—	0
京都東山	62	0	0	62	63	0	2	1	70.58	6
京都北東	26	0	0	26	24	2	0	1	85.71	1
京都イブニング	20	0	0	20	19	1	0	3	100.00	2
京都城陽	32	0	0	32	32	0	0	2	100.00	3
京都桂川	30	0	0	30	31	0	1	1	100.00	0
京都北	66	0	0	66	64	2	0	1	—	0
京都市南	240	0	0	240	246	3	11	1	—	0
京都モーニング	45	0	0	45	46	1	2	0	—	6
京都紫野	45	2	1	46	48	2	4	1	100.00	0
京都中	36	1	0	37	34	3	0	0	—	0
京都西	97	0	1	96	97	3	4	0	—	0
京都乙訓	34	0	0	34	35	0	1	0	—	1
京都洛中	76	0	0	76	77	2	3	0	—	0
京都洛北	68	0	0	68	66	2	0	1	100.00	0
京都洛南	29	0	0	29	31	0	2	0	—	2
京都洛西	41	0	0	41	39	3	1	3	100.00	6
京都洛東	48	0	0	48	48	2	3	3	70.43	0
京都嵯峨野	18	0	0	18	18	0	0	2	73.53	0
京都さくら	27	0	0	27	28	0	1	1	100.00	6
京都西北	36	0	0	36	37	0	1	1	100.00	5
京都西南	40	0	0	40	40	1	2	0	—	2
京都紫竹	33	0	0	33	33	1	1	1	100.00	3
京都朱雀	35	0	0	35	35	0	0	1	100.00	3
京都田辺	21	0	0	21	19	2	0	0	—	5
京都山城	21	0	0	21	22	0	1	1	95.24	0
京都八幡	21	0	0	21	21	0	0	0	—	2
舞鶴	24	1	0	25	24	1	0	1	100.00	0
舞鶴東	37	0	0	37	37	1	1	1	88.24	4
宮津	31	0	0	31	32	0	1	0	—	0
園部	23	0	0	23	23	1	1	1	100.00	0
宇治	35	0	0	35	37	0	2	0	—	1
宇治鳳凰	39	0	0	39	41	0	2	1	100.00	5
小計	2,041	5	6	2,040	2,046	58	70	0.9		82

奈良県 (14クラブ)	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
あすか	50	0	0	50	51	0	1	1	95.35	1
五條	26	0	0	26	26	1	1	0	—	0
平城京	31	0	0	31	30	2	2	0	—	8
生駒	10	1	0	11	12	1	2	1	81.81	0
橿原	47	2	0	49	41	9	1	1	69.05	1
奈良	129	0	1	128	128	1	1	0	—	5
奈良東	25	0	0	25	25	2	2	0	—	1
奈良西	42	0	0	42	42	1	1	0	—	3
奈良大宮	69	0	0	69	71	0	2	0	—	2
桜井	17	0	0	17	17	0	0	0	—	5
大和郡山	47	0	1	46	47	0	1	0	—	2
やまとまほろば	28	0	0	28	28	0	0	1	88.88	4
やまと西和	22	1	0	23	22	1	0	1	100.00	2
大和高田	94	0	0	94	93	3	2	0	—	4
小計	637	4	2	639	633	21	16	0.4		38

福井県 (18クラブ)	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
福井	135	3	1	137	128	12	3	4	82.73	12
福井あじさい	62	0	0	62	60	2	0	4	58.55	5
福井フェニックス	62	0	0	62	59	3	0	0	—	10
福井東	45	0	0	45	47	2	4	1	66.67	9
福井北	102	1	0	103	104	2	3	4	87.10	13
福井南	29	5	0	34	29	5	0	1	83.33	2
福井西	30	0	0	30	30	0	0	0	—	3
福井水仙	24	0	0	24	23	1	0	1	91.66	2
勝山	24	0	1	23	24	1	2	1	70.00	3
丸岡	33	0	0	33	33	0	0	1	83.87	1
三国	28	0	1	27	29	0	2	2	79.63	4
大野	38	0	0	38	40	0	2	3	100.00	1
鯖江	36	0	0	36	38	0	2	3	58.70	3
武生	52	0	0	52	50	2	0	1	73.08	5
武生府中	26	0	0	26	24	2	0	2	88.46	0
敦賀	28	0	0	28	29	0	1	0	—	1
敦賀西	16	0	0	16	16	0	0	2	87.50	1
若狭	18	1	0	19	18	1	0	2	100.00	1
小計	788	10	3	795	781	33	19	1.6		76

滋賀県 (21クラブ)	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
びわ湖八幡	63	0	0	63	60	3	0	3	100.00	1
五個荘能登川	20	1	0	21	18	3	0	1	85.71	1
東近江	37	0	0	37	37	2	2	3	86.82	3
彦根	54	0	0	54	58	2	6	1	100.00	4
彦根南	60	0	0	60	61	2	3	1	96.55	0
湖南	42	1	0	43	40	3	0	3	95.39	1
草津	31	0	0	31	31	0	0	1	100.00	1
水口	31	0	0	31	31	2	2	2	87.50	1
守山	44	1	0	45	40	5	0	1	88.64	0
長浜	62	1	1	62	59	4	2	0	—	0
長浜東	57	1	0	58	55	5	2	0	—	0
長浜北	25	0	0	25	24	2	1	0	—	3
近江八幡	46	0	0	46	43	3	0	3	100.00	0
大津	113	0	0	113	108	8	3	3	100.00	5
大津中央	28	0	0	28	27	1	0	0	—	7
大津東	25	1	0	26	23	3	0	0	—	9
大津西	21	0	0	21	20	1	0	1	100.00	0
栗東	54	0	0	54	56	0	2	1	100.00	2
高島	50	0	0	50	48	2	0	1	100.00	1
野洲	38	0	0	38	38	2	2	1	100.00	1
八日市南	46	0	0	46	46	0	0	3	96.69	3
小計	947	6	1	952	923	53	25	1.4		43

Eクラブ (1クラブ)	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
日本ロータリー Eクラブ2650	37	1	0	38	42	3	7	3	—	11
小計	37	1	0	38	42	3	7	3		11

合計 (96クラブ)	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	女性 会員数
小計	4,450	26	12	4,464	4,425	168	137	250

■表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、1月会員数および入退会者累計数は1月末現在です。
- ・「期首会員数」は、2020年6月末会員数より、7月1日退会者を引いた数です。

## 2021年1月 会員の動き

### 入 会 者 一 覧

クラブ名	氏 名	職 業 分 類
京 都	勝浦 大達	中央銀行
京 都 紫 野	宇野 武志	管工事業
京 都 紫 野	加藤 友幸	管工事業
京 都 中	草柳 友彦	ホテル業
舞 鶴	網干 勝之	建築板金業
生 駒	東條 哲圓	僧侶
檀 原	鷓山 学	電機工事業
檀 原	吉川 智也	住宅建設業
やまと西和	松井 曦明	調味料製造業
福 井	櫻田貴美子	リラクゼーション
福 井	瀬越 智和	不動産業
福 井	野路 純平	紳士服販売
福 井 北	松浦 悦郎	私立学校

クラブ名	氏 名	職 業 分 類
福 井 南	古川 利正	事務機販売
福 井 南	松代 憲和	冷暖房設備工事
福 井 南	中道 正康	自動車配布
福 井 南	奥村 悦久	泌尿器科医
福 井 南	山浦光一郎	弁護士
若 狭	水口 清作	土木請負
五個荘能登川	松居 隆史	植木生産・卸業
湖 南	政 博喜	損害保険業
守 山	舩田 丈英	リゾートホテル
長 浜	水谷 雄吉	自動車学校
長 浜 東	大澤 剛人	食品製造販売
大 津 東	藤岡 倫紀	新聞販売業
日本ロータークラブ2650	ザヤサイハン ガンパトル	輸入・販売業

### 退 会 者 一 覧

クラブ名	氏 名
京 都	森口 浩紀
京 都	大村 泰志
京 都	北川 公彦
京 都 伏 見	澤野 弘
京 都 西	上田 哲次
奈 良	大原 昭人
大 和 郡 山	清水 幹夫◆
福 井	西田 高宏
三 国	長谷川郁雄

◆…名誉会員へ移行

### ご 逝 去 一 覧

クラブ名	氏 名
京 都 紫 野	室 輝男
長 浜	松居 良蔵
勝 山	竹田 幸弘

(敬称略)

# Rotary



奈良  
京都  
滋賀  
福井

国際ロータリー第2650地区

2020-21年度ガバナー 松原 六郎

ガバナー事務所

〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都市センタービル5階520号室  
TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 E-mail: gov2020-21@rid2650.gr.jp